

日本学術会議 化学委員会 IUPAC 分科会（第 24 期・第 6 回）議事録

日時：令和元年 12 月 26 日（木）16:30～17:40

会場：日本学術会議 5 階 5-C(2) 会議室

出席者 10 名： 黒田 玲子、栗原 和枝、酒井 健、澤村 正也、茶谷 直人、竹内 孝江、
糸 和行、所 裕子、長谷川 美貴、山内 薫

欠席者 2 名： 澤本 光男、山本 陽介

委員長 酒井 健 (九州大学大学院理学研究院)

副委員長 茶谷 直人 (大阪大学大学院工学研究科)

幹事 竹内 孝江 (奈良女子大学研究院自然科学系)

幹事 所裕子 (筑波大学大学院数理物質科学研究所)

冒頭、委員の半数以上名の出席が得られたので、分科会として成立することが確認された。

- (1) 2018 年 12 月 27 日に開催された第 24 期・第 3 回 IUPAC 分科会の議事録が承認された。
- (2) 同日の午前中に開催された化学委員会全体会議にて、酒井委員長から本分科会の本年度活動について報告が行われたことが説明された。
- (3) Division V が今後に分析化学の教育に関する大規模な調査を行う予定であること、日本も調査に協力すべきことが報告された。調査の実行は、学術会議 IUPAC 分科会と分析化学分科会から日本分析化学会に依頼して行うことが承認された。
- (4) 第 50 回 IUPAC General Assembly (2019 年 7 月 6–11 日: フランス・パリ) にて行われた各ミーティングに日本から多くの先生方が参加されたこと、Council Meeting に酒井委員長、竹内委員、糸委員、所委員、他 2 名が参加したことが報告された。また、Council Meeting における選挙にて、次期 IUPAC 会長など IUPAC 役員および 2023 年 IUPAC General Assembly 開催地などが選出されたことが報告された。
- (5) 国際周期表年・各種記念事業について、数多くのイベントが盛況に行われたことが報告された。
- (6) 国際周期表年閉会式について、好評を得、成功裏に終わったことが報告された。
- (7) IUPAC の Divisions や Standing Committees の活動に、日本からより積極的に参加していくために、若手人材の育成を心掛けることを確認した。

以上